

22 絶対主義(1)

1500— [スペイン絶対主義]

[オランダの独立と繁栄]

[イギリス絶対主義]

[フランス絶対主義]

1500

ハプスブルク家

【カルロス1世】1516～56
神聖ローマ皇帝
反宗教改革の中心

★中南米征服と植民地支配
銀の流入による富強化

ネーデルラント 現在 { ベルギー
オランダ }
ハプスブルク家領
商工業の繁栄

テューダー朝

1485～1603
【ヘンリー8世】1509～47
1534 カトリック教会と絶縁
イギリス国教会の成立
★その特色
【エドワード6世】1537～53
1549 カルヴァン主義的祈祷書を制定

ヴァロア朝

1328～1589
【フランソワ1世】1515～47
1521 戦争
～44 { カール5世と対立
オスマン= トルコと同盟

1556

フェリペ2世 全盛期

～98 { 世界最強の無敵艦隊保持
“太陽の” }
1571 海戦
地中海で勝利
1571 フィリピンに 建設
1580 併合
1588 の敗北

{ スペイン領となる
カルヴァン派市民 }
★南部と北部の相違
1568 オランダ独立戦争 始まる
★原因
南部10州の脱落
1579 同盟
ホラント州中心北部7州
1581 宣言
ネーデルラント連邦共和国
指導者
1609 休戦条約で事実上独立

【メアリ1世】1553～58
カトリック復活, 新教徒を弾圧

エリザベス1世 全盛期

1558～03
1559 英国教会の確立
★毛織物工業発達 { 問屋制家内工業 }
★ 運動 を目的
1588 スペインの を破る
1600 の設立

1550

1562～98 戦争 宗教戦争
1572 の虐殺

ブルボン朝

1589～1830
【アンリ4世】1589～1610
ユグノー首領, カトリックに改宗
1598 ★意義

衰退へ

17世紀前半

オランダの繁栄

{ 工業の発達
貿易 { 東洋貿易独占
新大陸貿易 }
は国際商業
金融の中心地として繁栄
1648 条約
で独立承認

ステュアート朝

1603～1714
【ジェームズ1世】1603～25
・王権神授説 ・議会と対立
【チャールズ1世】1625～49
1628 ★その内容

【ルイ13世】1610～43
1614 以後 の召集を停止
宰相
・王権の強化をを推進
三十年戦争に干渉

1650

ピューリタン革命

1642～49
共和政
護国卿 の独裁
1651 ★内容と意義
1652～74 戦争

1643～1715 ルイ14世 太陽王 全盛期
1648 宰相
～53 の乱
1661～ルイ14世の親政
財務長官
★重商主義の推進
宮殿の造営

17世紀後半

以後衰退

王政復古
【チャールズ2世】1660～85 議会と対立
1673
1679 ★政党成立
【ジェームズ2世】1685～88

極盛期 “ ”
対外的侵略戦争 自然国境説
①ネーデルラント継承戦争
②オランダ侵略戦争
③ファルツ継承戦争
1685 廃止 ★意義

1700—スペイン=ブルボン朝

【フェリペ5世】1700～
スペイン継承戦争

1688 名誉革命

1689 ★経過と意義
【ウィリアム3世・メアリ2世】
【アン女王】1702～14
1707 王国成立

1701④ 戦争
～13 和約 ★内容

18世紀前半

ハノーヴァー朝

1714～
【ジョージ1世】1714～27
★責任内閣制の成立
1721～42 首相
“王は ”

【ルイ15世】1715～74

立憲君主制の確立

英仏植民地戦争(第二次百年戦争)

1763 条約

1750

1760年代～産業革命
【ジョージ3世】1760～1820

啓蒙思想の発達

18世紀後半

1775 アメリカ独立革命
～83 パリ条約

【ルイ16世】1774～92
1789～フランス革命

対仏大同盟を結成しフランス革命に干渉
首相 ピット

1800

1800